

令和 2年度予算見積調書

課室名: 情報システム課

担当名: 県民サービス・システム共同化担当

内線: 2284

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B22	県民サービスプラットフォーム整備事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	情報政策推進費		
事業期間	平成29年度～	根拠法令	なし				宣言項目			
							分野施策	061351 ICTを活用した県民の利便性の向上		
1 事業概要				5 事業説明						
<p>県民の行政への関心や理解を高めるとともに、行政サービスの利用や政策への県民参加を促進していくためにICTを活用して、県民一人一人に最適な行政情報をプッシュ型でタイムリーに提供するサービス基盤「県民サービスプラットフォーム」を整備する。</p> <p>(1) 県民サービスプラットフォーム保守・運用 104,313千円 (2) 県民サービスプラットフォーム機能改修 11,644千円 (3) 県民サービスプラットフォームデータ解析業務 11,550千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 県民サービスプラットフォーム保守・運用 104,313千円 イ 県民サービスプラットフォーム機能改修 11,644千円 ウ 県民サービスプラットフォームデータ解析業務 11,550千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 令和元年度: 開発、機能改修 ・県内の大規模災害発生に備え、平常時から県民に的確に情報発信ができる災害対策アプリを開発する。 ・行政サービスアプリの活用事業の調整、サービス展開、システム運用、利用者拡大を行う。</p> <p>イ 令和2年度、3年度: 機能改修、利用者拡大施策 ・運用に伴い課題となっている機能について改修を行う。 ・行政サービスアプリの利用者拡大に向けた、県民及び各事業課及び団体への働きかけを行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア これまで県政情報を受け取る機会のなかった県民が行政サービスを認知し、必要とする行政サービスを活用できるようになる。 イ 平常時の身近な防災情報を提供するとともに、災害発生時にも県民のニーズに合わせた非常時情報を活用できるようになる。</p> <p>(4) その他</p> <p>ア 県の事業のほか、子育て事業等の市町村事業にも適用することで、普及とサービス価値の拡大を図る。 イ 情報等の管理に対するセキュリティ対策を万全に備えたシステムとして構築・運用する。 ウ 前年度からの主な変更点 令和元年度新設定した単位事業「災害対策アプリ提供業務」を「県民サービスプラットフォーム保守・運用」及び「県民サービスプラットフォーム機能改修」に組み込む。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円										
				財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比	
予算額										
決定額	127,507								127,507	△16,646
前年額	144,153								144,153	